

# 健大通信



【編集・発行】高崎健康福祉大学 〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1 <https://www.takasaki-u.ac.jp>



## TOPICS

### 求められる保育者・教育者の養成を目指して

高崎健康福祉大学  
人間発達学部学部長  
中村 博生 Hiroki Nakamura

人間発達学部は、2012年に本学の4番目の学部として開設され、今年で11年目を迎えました。2016年3月から7期生までの学生が卒業しています。卒業生は専門職（保育士・教員）をはじめ一般公務員・民間企業・大学院等、就職や進学において素晴らしい成果を残しています。公立学校の教員、公立の保育所・幼稚園、行政職の採用試験は、1～2期生では各年20名前後の合格者を出し、3～7期生では毎年30名前後の合格者を出しています。この成果は開設された当初の予想を大きく上回るものでした。学生の努力は言うまでもありませんが、教職支援センターのスタッフや学部の教職員の惜しみない努力の結果でもあると考えています。また、理事長、事務局長、学長をはじめとする大学の皆様の熱い支援があってこそその結果でもあります。さらに特筆すべきことは、1期生から積み上げてきた、学生の就職に関する熱心な取り組みが、学部の伝統の一つとなっているということです。

話は変わりますが、最近「寄り添う」という言葉がよく使われるようになりました。寄り添うとは「ぴったりとそばへ寄り」ですが、物理的に接近してなくても、気持ちがそばにあることを「寄り添う」と表現することもあるようです。教育現場では、学習が遅れがちな学習者には寄り添って丁寧に指導をしなければならぬ、などという表現をします。これは近くにおいて気持ちを理解することに加えて、対象の学習者を観察して分析し、何が欠けていて何を必要としているのかを見極め、その学習者に適した学習の内容と方法を創造し指導することだと思われまふ。そこには学習者の心情を理解した上での、科学的アプローチが求められるということになります。

小・中・高校時代に教わった先生の教育にあこがれて、進路を保育・教育にしたと動機を語る学生がいます。児童・生徒の時は、あこがれの先生の指導が自分にとって受け入れやすかったのでしょうか。授業は理解しやすく、学級単位で取り組む行事は楽しく、友達との交流も軋轢を生むことなく、登校することが楽しかったというイメージを持っているのでしょうか。しかし、多くの児童・生徒がわかる授業、全員が楽しいと感じる学級経営、様々な個人的な問題やクラスメートとのトラブルを解決できる生徒指導を行う教師は、ベテランでもそう多くはいません。先生になって初めて、あこがれの先生がどれほど身を粉にして子どもたちのために働いていたかに気づき、自分もそのように働く覚悟が必要であると感じるようになるでしょう。

私は、1977年から中学校で17年間、そして短大・大学で28年間にわたり英語教師として教鞭をとってまいりました。日本における語学学習の支援システムは、1960年頃からLL (Language Laboratory) 教室が普及し、1990年代後半からLL教室がコンピュータ化されてCALL (Computer Assisted Language Learning) 教室に進化しました。現在では、GIGA (Global and Innovation Gateway for All) スクール構想が、2019年に文部科学大臣から出され、全国の児童・生徒に1人1台の端末と高速大容量の通信ネットワークが整備されることになりました。児童・生徒は普通教室で、かつてLL教室やCALL教室

でできた個別学習に加えて、授業支援アプリの機能によってはノートと鉛筆、黒板とチョークでできることも、タブレット端末の画面でできるようになりました。つまり、学習者が個々にネイティブの音声や映像教材を視聴し、マイク付きイヤホンで自分の声を録音し、教師からの発音指導を個別に受けることができます。もちろんペアやグループでのアクティブラーニングも快適に行うことができ、友達との議論や相互評価も可能となります。

授業支援アプリを使用した大学での授業の一例を紹介します。30人程度の学生が英語の音声を学修する教養科目です。事前に15回分の音声教材を配布します。学生は自分の進度によって、テキストのどの課の教材を学修してもかまいません。教師は教室では標準的な進度の教材の内容について説明します。説明が終わると学生は端末を使って、その課を中心にワークシートに従って学修活動を行います。ネイティブの音声を聞いたり繰り返し発音したりして、発音の方法などを学びます。ワークシートが前週に配布されていますので、予習が十分できている学生は、すぐにその時間の提出課題（英文の音読）に取り組みます。このアプリは反転授業を可能にするアプリですので、学修活動の開始直後でもその課題を家庭学習の成果として提出することができます。教師は提出箱に提出された課題をその場で評価して返却します。学生はその評価を見て、何が欠けていてどう修正したらよいかを考え、再度練習し録音して提出することができます。このアプリは、教材の配布、録音、提出、評価、返却の操作がとても簡便にできるので、教師の多忙感を大幅に緩和してくれます。ワークシートには、学修への取り組み状況や学修の成果を記入して提出します。これも写真撮影をしたワークシートを提出箱に提出して、教員の評価を受けることができます。これらの提出物から、学修者の意欲や能力を分析し、何が欠けていて何を必要としているのかを見極めながら、フィードバックします。コロナ禍のなか、様々な事情で対面授業に参加できない学生には、オンライン授業（ライブ配信、オンデマンド配信）を設定して、授業に参加した場合とほぼ変わらない授業内容の提供や課題の提出・評価・返却が可能です。

ICTを導入して授業を行うことは、まさに働き方改革のひとつと言って差し支えないと思います。寄り添う教育を意図して多くの時間とエネルギーをさき、身を粉にして働いてきた教師は、これまでの充実した指導内容に加えてICTの導入・運用で、ベストミックスといえる授業を展開することが可能です。あこがれの先生を目指す学生たちのためにも、それぞれの学問領域の原理原則を十分に学修させ、そのうえでICTの活用ができる知識・能力を身に付けさせて世に送り出すことが肝要です。多様な子どもたちを誰一人取り残すことのない個別最適化された学びや創造性を育む学びの実践に、少しでも近づく努力を惜しみなく行う、そんな保育者・教育者の養成が求められているように思います。

学科 Topics

01

フィンランドJAMK大学への  
IT科目履修型留学プログラム

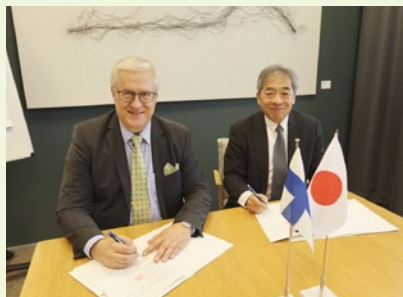
医療情報学科 教授 松尾 仁司

技術的進歩の著しいITやサイバースキュリティ分野では、専門技術を活用できる人材が必要とされています。大学院医療福祉情報学専攻では、2020年よりフィンランド・ユバスキュラ市にあるJAMK応用科学技術大学(Jamk University of Applied Sciences)以下(JAMK大学)と連携し、1年間留学してサイバースキュリティの専門科目を履修する国際教育プログラムを推進しています。今回、医療情報学専攻3年生を対象に、先進的知識と国際的経験を有する人材育成を目的として、5か月間JAMK大学へ留学してIT系専門科目を履修するプログラム「Information and Communication Technology Study Diploma Programme」を開発し、石田朋靖学長とHeikki Malinen 副学長の合意書を締結しました。

JAMK大学IT学科では2021年度より全科目英語による講義の学部カリキュラムを開始し、国際的なIT教育に積極的に取り組んでいます。JAMK大学はサイバースキュリティに関する先進的な設備と教育体制を備え、ヘルスケアや食品関係のセキュリティプロジェクトにも参加するなど先進技術が学べるため、ヨーロッパやアジアからも多くの学生がIT学科へ学びに来ています。フィンランドは森や湖など自然が豊富で治安も良く、街内でも英語が通じるなど、日本人にも暮らしやすい環境です。IT技術は新しい情報が海外から発信されることも多く、本学学生が海外の大学で英語の専門科目を履修することによって、国際経験豊かなIT人材として成長することを期待しています。



▲JAMK 大学本部キャンパス



▲JAMK 大とのプログラム合意書締結



▲IT 科目授業の様子

学科 Topics

02

学科の魅力を発信！  
「もりプロ」は社会福祉学科の宝物

社会福祉学科 助手 武井 祐希

社会福祉学科には、「社会福祉学科を盛り上げようプロジェクト(通称：もりプロ)」という団体が存在します。「もりプロ」とは、学生が主体となって社会福祉学科を盛り上げ、学科の魅力を発信していく、学生の有志団体です。平成21年度に学科名が社会福祉学科へと改称されたことを契機として、学生生活の充実や学生に対する教育的効果、学科広報活動の充実などを目的に、15名程度の有志学生で発足しました。同時に、当時のゆるキャラブームにあやかり、社会福祉学科のゆるキャラ「すけっと」を学生募集にて決定しました。「すけっと」は、福祉・介護の世界は人手不足で「猫の手も借りたい」ということで猫をモチーフにしました。また、社会福祉学科の学生が、福祉・介護の世界の「助っ人」になってほしいという願いも込められています。

発足から13年が経ち、今では全学年で100名を超えるメンバーがいます。そんなもりプロがもつとも力を発揮するのは、オープンキャンパスです。社会福祉学科のオープンキャンパスでは、もりプロがガイドになってキャンパス内を巡る「キャンパスツアー」や、もりプロと本音トークのできる「カタリバ」、もりプロと学科教員がトークライブを行う「Youは何しに福祉の世界へ」などを行っています。これらの企画は、企画段階から運営までをすべてもりプロが行っています。企画を通して、大学で学んだことや福祉に対する熱い思いなどを来場者へ伝えていきます。来場者からは「もりプロが親切に対応してくれた。」「学生が生き生きしていて素晴らしい。」「学生にしかわからない、学生ならではの視点を活かして



▲22 夏オープンキャンパスにて①



▲22 夏オープンキャンパスにて②



社会福祉学科  
マスコットキャラクター  
「すけっと」

た活動は、社会福祉学科の広報活動において、大変大きな役割を担っています。もりプロは社会福祉学科の教育サポートとしての活動も行っています。新入生の入学後ガイダンスやフレッシュマンキャンプにおいて、資格取得や職業選択を見越したコース選択、履修方法などを伝授します。演習科目では、もりプロ企画による仲間づくりレクも実施しています。これらの活動によって、多くの新入生が「入学後の不安が解消された」と感じています。もりプロの活動が新入生に与える影響は、我々教職員よりもはるかに大きいものであると実感しています。

もりプロは、まだまだ大きな可能性を秘めた組織です。学生の自由で遊び心のある発想は、何ものにも代え難い、広報活動のツールです。もりプロの力を最大限発揮し、群馬県内に、そして日本全国に、高崎健康福祉大学社会福祉学科の魅力を発信していきます！

学科  
Topics

03

対面復活!!  
第14回健康栄養学科スポレク大会開催報告

健康栄養学科 准教授 大家千枝子

健康栄養学科では、1〜4年生・大学院生、教員、卒業生が集まって、年に1回身体を動かし交流を深めることを目的としたスポーツ・レクリエーション大会を開催しています。今年は、6月11日(土)、一堂に会してのイベント開催が3年ぶりに実現しました(感染状況を考慮し、感染予防対策をとり、午前中のみ・卒業生不在で実施)。

当日は、1年生92名、2年生16名、3年生2名、4年生なし(学外実習前のため自粛)、大学院生2名、教員11名の合計123名がこのイベントに参加しました。

厳選された実施種目は、①教員クイズ(4択)、②ドッジボール、③綱引き、④雑巾がけ競争、⑤抽選会&ジャンケン大会、です。このイベントは毎年1〜4年の各学年から選出されたメンバーが準備に約3か月かけていますが、久しぶりのリアル開催。実行委員長の2年佐藤優哉さんを中心にほげゼロから企画することになりました。

大会後には、参加学生を対象にアンケートを実施。同学年との交流については、90.7%が「交流できた」と回答。全体のプログラムを通じた楽しさについても、97.7%の参加者が「楽しかった」と回答してくれました。一方、先輩や後輩、教員との交流については、「交流できた」という回答が55.8%であり、先輩や後輩、教員との交流について、まだまだ工夫や改善の余地がありそうです。自由記述では、今まで話したことになかった人と交流できたことの喜び、思い切り運動できたことの嬉しさ、健康栄養学科の雰囲気の良い、実行委員への感謝、教員の積極的な姿勢への

感嘆、などのコメントが寄せられました。

健康栄養学科には、この他にもいろいろなイベントがあり、それらひとつひとつが学生たちのよい経験につながっています。引き続き、スポーツ・レクリエーションの力で健康栄養学科の団結力をさらに高めていきましょう。



▲教員クイズ



▲ドッジボール



▲綱引き



▲教員チーム



▲集合写真



▲スポレク実行委員

学科  
Topics

04

第5回群馬県薬学大会開催のご報告  
薬業連携から薬業学連携へ

薬学科 教授 大林 恭子

群馬県薬学大会は主に保険薬局薬剤師が所属する群馬県薬剤師会と主に病院薬剤師が所属する群馬県病院薬剤師会、それぞれの学術大会が合同開催となった学術集会です。本年5月15日(日)に第5回群馬県薬学大会を本学薬学部を配信拠点として開催いたしました。COVID-19の感染状況を鑑み、残念ながらオンライン開催となりましたが、参加者は400名近くとなりました。本年度から本学薬学部は群馬県薬剤師会、群馬県病院薬剤師会に加え主催となり、寺田薬学部長が副大会長を務められ、名実ともに薬業連携から薬業学連携の学術集会となりました。

教育講演は厚生労働省の紀平哲也薬剤管理官による「令和4年度診療報酬・調剤報酬改定と薬剤師へのメッセージ」、シンポジウムは、「薬業連携で紡ぐ、育む、10年後の臨床薬剤師」と「多職種によるタスクシフト」薬剤師は何をすべきか」の2題で開催いたしました。シンポジウムには本学看護学科の棚橋教授に看護師養成者の立場からご登壇いただきました。県民公開講座は群馬大学医学部附属病院泌尿器科鈴木和浩教授に「前立腺がんの早期発見と新しい治療」をご講演いただきました。開催後アンケートでは特に教育講演と県民公開講座は高い評価をいただきました。

一般演題26題のポスター発表はバーチャルオフィスのシステム「oVice」を使用した発表形態でした。慣れないシステムで参加者によってはトラブルもありましたが、今後の多様な開催形態を見据え、新たなポスター発表を経験できました。また、本学薬部

部の土井信幸先生が最優秀演題賞を受賞されました。

県単位の薬業学連携の学術集会は全国でも未だ数少ない状況です。群馬県下唯一の薬学部である本学の責務として、日頃より臨床の薬剤師の先生方と密に情報交換、連携を取り、日々の臨床活動や臨床研究を積極的に支援し、本大会で連携の成果が発表されることを目指しております。第6回群馬県薬学大会は2023年5月14日(日)に開催予定です。本学の皆様にはご支援、ご協力をお願いする次第です。



▲副大会長：寺田薬学部長



▲看護学科：棚橋教授



▲シンポジスト：大林



▲oVice を利用したポスター発表

学科 Topics

05

教育現場で子供の健やかな成長を支援する  
養護教諭〈本学養成課程の特徴〉  
看護学科 教授(養護教諭課程担当) 青柳 千春

私は平成27年に本学へ着任しました。養護教諭課程を担当する中で、着任以来ずっと大切にしている3つの特徴をご紹介します。

○建学の精神「自利利他」のもとで育てる養護教諭

子供たちが抱える健康課題は複雑化し、その解決は容易ではありません。しかし、いつの時代も子供たちは「ありのまま自分を受け入れ、信じ、応援してくれる」教師を求めています。

『もしもかなうならただ生きるのではなく誰かのために生きる私になりたい』

(大学歌「夢のはじまり」の建学精神のもと、子供たちから信頼される養護教諭の養成を目指しています。

○現場での学びを統合する「養護実習報告会」

報告会

7月、養護実習報告会を行います。養護実習は、学校という場で、直接子供と関わり、大学で学んだ知識や技術が通用するのかを確認できる貴重な機会です。成果をまとめ発表することで、学生は学びを深め、自身の課題を明らかにして、学び続ける姿勢を身に付けていきます。

○学生一人一人の夢の実現を支援する「教員採用試験対策講座」

教員採用試験の合格を目指し、2年次後期から4年次前期まで対策講座を開講しています。看護の勉強との両立は厳しいですが、皆、粘り強く取り組んでいます。ひとりでも多くの学生が夢を実現し、養護教諭として「はじめの一步」を踏みだせるよう全力で支援しています。



▲教員採用試験対策講座の様子①



▲養護教諭養成課程の授業の様子①



▲養護実習報告会の様子①



▲養護実習の様子①



▲教員採用試験対策講座の様子②



▲養護教諭養成課程の授業の様子②



▲養護実習報告会の様子②



▲養護実習の様子②

学科 Topics

06

理学療法学科10期生の  
卒業研究発表会が開催されました  
理学療法学科 准教授 大野 洋一

理学療法学科では、各学生が在学中に興味をもったテーマを一人一研究として、3年生後期より研究計画の立案を開始し、8月初旬の卒業論文完成に向けてゼミでの活動を進めてまいりました。

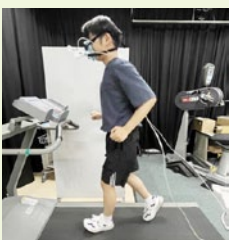
今年度も学生達は研究計画の段階より、感染対策の準備をしっかりと進め、それを厳密に実行することで予定通りにデータ測定を経験することができました。

卒業研究発表会は対面とオンラインのハイブリッド形式で行うことにより、感染症の影響で自宅待機を余儀なくされた学生も無事に発表を終える事ができました。また、3年生も後期から始まります卒業研究活動を知る機会としてオンラインで参加してもらいました。多くの参加者の元で卒業研究活動の集大成となる発表会を開催することが出来て本当に良かったと思っています。

今回、卒業研究を学ぶ過程で経験した「疑問をもつ」、「調べる」、「測定・介入する」、「結果を考察する」そしてまた「疑問をもつ」、このサイクルは理学療法を実施するうえでの基本となる思考過程であり、治療のみでなく、臨床研究でも必ず活かされることです。是非、本学科の教育目標である選ばれる理学療法士への成長に繋がる経験として役立てて頂ければと思います。



▲測定風景②



▲測定風景③



▲測定風景①



▲発表会

学科  
Topics

07

「子どもと音・音楽との出会い」  
子ども教育学科ワークショップとコンサート

子ども教育学科 講師 佐藤 和貴

昨年度、本学科に設置された世界最高峰のグランドピアノ、スタインウェイ&サンズ（C1227）を使用したワークショップとコンサートが、8月7日（日）に開催されました。感染拡大防止のため、音楽教育関係者を中心に50名程度に参加者を抑えての実施となりました。

コンサートでは、本学科の音楽教育を担当する教職員2名によって、シヨパンとドビュッシーの作品などが演奏されました。スタインウェイの煌びやかで多彩な音色を存分に生かした音楽に、会場は音楽鑑賞の充実感に包まれました。

このスタインウェイは授業でも使用しており、日常的に学生たちも演奏しています。学生の演奏を聴いた方々からは、明らかに音色に対する意識が変わったという驚きの声が届いており、質の高い楽器を通じた音色は、潜在的な学生たちの感性の発現に大きな影響を与えると言われております。本学科で学んだ学生たちは、素晴らしい音楽的な感性を身につけ、将来、保育者や教員として、子どもたちへ音楽の魅力を存分に伝えることができるのではないのでしょうか。

スタインウェイのグランドピアノは、その比類なき製造工程から100年後も変わらぬ音色を奏で続けます。本学科で学んだ学生たちの音色や感性は、このスタインウェイとともに、未来の教育へ必ずやつながっていくことと信じます。

最後になりましたが、スタインウェイを設置していただいた大学に心より感謝申し上げます。



▲ピアノ2台によるアンサンブル



▲ピアノ独奏（佐藤和貴）



▲ピアノ独奏（田中悠一郎氏）

学科  
Topics

08

農学部・生物生産学科  
地域の課題解決に向けた活動紹介

生物生産学科 准教授 齋藤 文信

生物生産学科では群馬県内唯一の農学部として、地域の課題解決に積極的に取り組んでいますので今回2つの取り組みをご紹介します。

1つ目は令和3年度から採択されている、群馬県農政部農村整備課の委託事業「群馬県やま・さと応援隊活動調査」による群馬県西部地域の果樹産地活性化です。主に3年生を中心としたグループが、果樹産地が抱える課題解決のため、新たな果実加工品の提案や若者目線での果物消費拡大方法の提案などに取り組んでいます。

2つ目は、今年度から始まった群馬県富岡市の「農家の課題解決プロジェクト」です。このプロジェクトは富岡市農業の課題解決に向けた新しい試みとして、農業経営者・市・健大生の三者が連携し収穫時期の人手不足解消に取り組むものです。初年度の今年は、8月の夏休み期間中に1年生から3年生までの学生が参加しました。

これらの取り組みは、地域に貢献することはもちろんのこと、学生にとっては講義で学んだことを現場で活かす貴重な機会でもあり、キャリア形成について考える場にもなっています。



▲梅林での果樹経営者や農政部の方々との意見交換



▲富岡市農林課によるプロジェクトの説明会



| 国際交流センター |

## 国際交流活動の報告



令和4年前期に対面で実施した3つの国際交流活動をご紹介します。



**① 5月20日 世界とつながるはじめての一步**【本学学生17名、健大高崎高校生1名、留学生などの県内在住外国人13名、その他学園教職員13名の参加】JICAの海外青年協力隊でジンバブエ、バングラデシュでの国際協力経験をお持ちの佐藤祥平氏を招いて、海外での経験談をお話いただき、自己の夢をテーマにワークショップ、ゲーム等で交流しました。



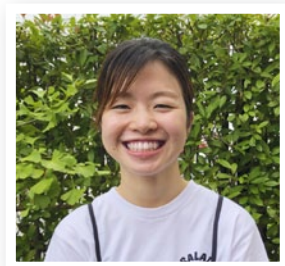
**② 7月1日 グローバルカフェ(写真コラージュ)**【本学学生21名、教職員6名の参加】イギリス出身のアーティストKevin氏を招いて、不要になった雑誌や新聞などから写真や文字を切り抜き白い紙に貼り付けていくコラージュを英語の説明を聞きとりながら行い、複数人で協力しながら作品を仕上げました。



**③ 7月17日 世界とつながる国際交流(ウクライナ)**【本学学生6名、健大高崎高校生2名、地域の方12名、教職員6名の参加】ウクライナから本県に避難してきた兄弟、音楽大学に通うKentaさんと高校生のIwanさんをゲストにウクライナの概要、文化、教育について、本学学生からは日本の文化、言語、学生生活について英語で紹介し合った後、サクソ演奏、ふるさとの合唱で交流しました。

### 参加学生の声

7/1の写真コラージュではKevinさんの表情や動きで意味が理解できることも多く、意思疎通に必要なのは言葉だけではない事を実感しました。7/17の交流では、地域の方たちの参加があり、日本の他、ポーランドやアメリカ、イギリスと多国籍の上、年齢も職業も様々で、そういった環境での交流は刺激的でした。勉強以外に活動参加することで時間的には忙しいですが、スキルアップの実感があり、かえて充実しています。在学中に色々なことに挑戦したいと思っています。



医療情報学科2年  
福島 朱莉さん



Takasaki University of Health and Welfare

# ベストティーチャー賞

BEST TEACHER AWARD

## 社会福祉学科 金井 敏 教授

ベストな教員として評価していただき、心から感謝申し上げます。日頃から私を支えてくださっている事務局の職員や教員の皆様、とりわけ社会福祉学科の先生方とVSCの委員、スタッフ各位と、この受賞を分かち合いたいと存じます。そして、私を実質的に育ててくれている学生に対しては、感謝とともにちょっぴり胸を張りたい気持ちです。

一介の福祉職から開学を控えた本学へ22年前に奉職しました。開学に向けて時間割や学生ハンドブックの作成、入学試験の実施や大学案内の作成など、白紙の状態から職員や先生方と悩みながら開学を迎えたことを思い出します。2006年には大学幹部や教授会の賛同を得てVSC(ボランティア・市民活動支援センター)が開設できたこと、そして何よりも健康に恵まれて授業を皆勤できていることは、小さな誇りです。

感染症拡大により不自由な教育・実践環境が続きますが、今後ともこれらを克服して進化し続ける本学の教員のひとりでありたいと切に願っています。

## 理学療法学科 篠原 智行 教授

この度はこのような栄えある賞を頂き、誠にありがとうございました。本学に着任してからのこの5年間、本学の先生方の教育方法を参考に見よう見まねでやって参りました。

学生への関わり方の一つとして、提示した課題の解答を明示する、又は、あえて明示しないという双方があります。大学教育では、高等教育からの学修者の在り方の変遷や専門性の高さ、課題の特性から、解答が明示されないことがあります。ですが、学修者は後者が多すぎると悶々としします。また、解答に辿りつけなくても次回から修正ができる、プロセスを自分のモノにできることが大切だと思っております。私なりに正解らしいものを示しながら、学生が腑に落ちる関わりに務めています。これは勇気が必要で、責任が伴います。教員自身が問われていると思い授業を進めています。

今回頂いた賞に恥じない学生との関わりを今後も心掛けていきたいと思えます。今後ともよろしく願いたします。

## 健康栄養学科 高梨 美穂 講師

この度は身に余る賞をいただき、大変光栄に存じます。私は至らぬ点が多く、日々、健康栄養学科の先生方をはじめ多くの教職員の皆様に支えて頂きながら業務を行っておりますので、皆様のお力添えなくしてはいただけない賞だと思っております。改めまして深く御礼申し上げます。

私が専門とする給食経営管理は「人との繋がり」がキーワードとなる分野です。給食は食べてくれる人を見つめることから始まり、共に調理してくれる仲間との協働が必須です。また、より良い栄養管理を行うためには関係する他職種の方々との連携も重要となります。人との繋がり、様々な価値観との出会いや多くの知識・技術の取得にも繋がり、人間としての大きな成長にもなると思えます。私自身が「人との繋がり」を大切にし、教育や研究を通して学生の皆さんと共に考え、日々成長していけたらと考えています。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

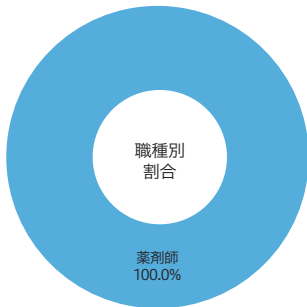


▲左から「健康栄養学科 高梨美穂講師」  
「社会福祉学科 金井敏教授」「理学療法学科 篠原智行教授」

Congratulations



薬学部 薬学科



◎病院

群馬赤十字病院 / 伊勢崎市民病院 / 沼田病院 / うつのみや病院 / 佐久総合病院 / 佐野厚生総合病院 / 篠ノ井総合病院 / 千葉大学医学部附属病院 / 日高病院 2名 / 東邦病院 / 石井病院 / 善衆会病院 / サンピエール病院 / 鶴谷病院 / 高崎中央病院

◎調剤薬局  
ドラッグストア

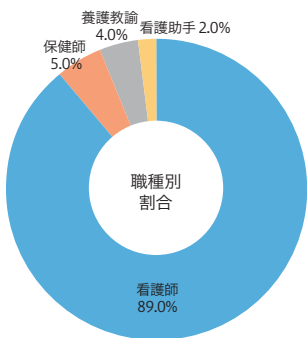
アインホールディングス 8名 / 日本調剤 5名 / クォール / ウェルシア薬局 7名 / カワチ薬品 3名 / クスリのマルエ 2名 / マツモトキヨシホールディングス / スギ薬局 / 太田中央薬局 3名 / アイケイ薬局 / イーファーマシー / ウィーズ / 飛鳥薬局 / クラフト / サンハルク / ミアヘルサ / メディックス / ユニスマイル / 龍生堂本店 / かみや薬局 / ビノキオ薬局 / れんげ薬局 / 吉田薬業 / エヌ・エム・アイ

◎進学

群馬大学大学院医学系研究科 / 金沢大学大学院医薬保健学総合研究科 (博士課程) / 高崎健康福祉大学大学院薬学研究科

就職率: 100%

保健医療学部 看護学科



◎大学病院

群馬大学医学部附属病院 2名 / 信州大学医学部附属病院 2名 / 自治医科大学附属病院 / 自治医科大学附属さいたま医療センター 3名 / 東邦大学医療センター大森病院 3名 / 東京医科大学八王子医療センター 2名

◎国立・公立病院

群馬県立病院 5名 / 伊勢崎市民病院 6名 / 公立藤岡総合病院 5名 / 群馬中央病院 3名 / 高崎総合医療センター / 公立富岡総合病院 / 埼玉県立病院機構 / 埼玉病院 / 宇都宮病院 / 富山県立中央病院 / 新潟市民病院

◎公的病院

群馬赤十字病院 10名 / 済生会前橋病院 4名 / 佐久総合病院 3名 / 足利赤十字病院 / 長野赤十字病院 3名 / 虎の門病院 / 原町赤十字病院 2名 / 三河青い鳥医療療育センター

◎一般病院

(県内) 東邦病院 4名 / 太田記念病院 / 利根中央病院 / 鶴谷病院 2名 / 角田病院 / 西毛病院 / 前橋協立病院 (県外) 上尾中央総合病院 / 埼玉協同病院 / 熊谷総合病院 / さいたま市民医療センター 2名 / TMG あさか医療センター / イムス富士見総合病院 / 羽生総合病院 / 新久喜総合病院 / 伊豆今井浜病院 / 鶴川サナトリウム病院 / イムス板橋リハビリテーション病院 2名 / 長野中央病院 2名 / 横浜鶴見リハビリテーション病院 療育センターきぼう

◎福祉施設

群馬県 2名 / 東京都 / 群馬大学共同教育学部附属小学校

◎学校教育

埼玉県 2名 / 前橋市 / 桐生市 / 杉戸町

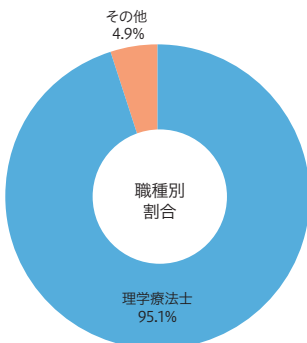
◎官公庁

高崎健康福祉大学大学院保健医療学研究科 3名 / 日本赤十字社助産師学校

◎進学

就職率: 100%

保健医療学部 理学療法学科

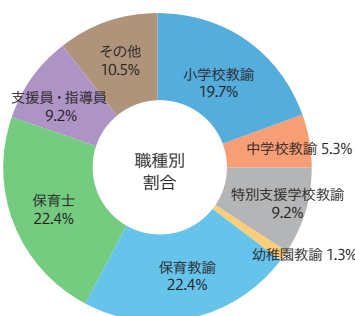


◎病院

<県内>  
公立藤岡総合病院 / 群馬中央病院 / 日高病院 3名 / 善衆会病院 2名 / 慶友整形外科病院 / 利根中央病院 2名 / 月夜野病院 2名 / 前橋協立病院 2名 / 上牧温泉病院 / 内田病院 / 石井病院 / 昭和病院 / 恵愛堂病院 / 桐生整形外科病院 / 関口病院 / 角田病院 / ゆうあい整形外科 / サンピエール病院 / 希望館病院  
<県外>  
関東労災病院 / 足利赤十字病院 / 諏訪中央病院 / 長野松代総合病院 / 鹿教湯三才山リハビリテーションセンター / 亀田総合病院 / 上尾中央総合病院 2名 / 大須病院 / 井戸田整形外科名駅スポーツクリニック / 結城病院 / 新久喜総合病院 / 春日部中央総合病院 / 圏央所沢病院 / 小金井リハビリテーション病院

就職率: 100%

人間発達学部 子ども教育学科



◎学校教育

<小学校> 群馬県 4名 / 埼玉県 4名 / 栃木県 / 新潟市 / 北海道 / 神奈川県 / 北本市 / フェリーチェ玉村国際小学校 2名  
<中学校> 群馬県 2名 / 伊勢崎市 / 茅ヶ崎市 / 小千谷市  
<特別支援学校> 群馬県 3名 / 埼玉県 3名 / 長野県  
<児童館> 軽井沢町

◎公立保育園

高崎市 2名 / 前橋市 2名 / 中之条町

◎私立/幼稚園  
認定こども園  
保育園

<県内> フェリーチェ国際こども園 / 高崎商科大学佐藤幼稚園 / 認定こども園あおぞら総社 / 認定こども園たちばな / こまがた幼稚園 / ねむの木こどもの森 / 中川幼稚園 / 矢中保育園 / 認定こども園あおぞら北 / きざきまち幼稚園 / たいせいこども園 / 認定こども園めぶきの森 / 阿左美幼稚園 / 鬼石こども園 / 吉岡町第四保育園 / 桜こども園たかせ / 三郷こども園 / 中居幼稚園 / 二子山幼稚園 / 茂呂こども園  
<県外> WIT2名 / あげほの保育園 / つながり Nursery 南与野 / おおたか保育園 世田谷豪徳寺 / 和光プライムスター保育園 / ふじおか幼稚園 / 森友会

◎福祉施設

児童養護施設 鐘の鳴る丘少年の家 / 児童養護施設 フランスiscoの町 / 三見福祉会 / 二之宮学童クラブ / 児童養護施設 江南 / 埼玉県社会福祉事業団 / イースターヴィレッジ

◎官公庁

法務省

◎その他(企業等)

セブン・イレブン・ジャパン / サフラン / ヴィエリス / 島村楽器 / フラッシュエージェント / 栃木県農協健康保険組合 / オンテックス

就職率: 100%

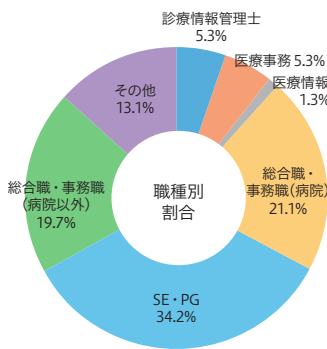




# キャリアサポートセンター

令和4年3月卒業生就職内定先一覧(令和4年4月1日現在)

## 健康福祉学部 医療情報学科



### ◎病院

国立国際医療研究センター/獨協医科大学病院/学校法人北里研究所/埼玉医科大学 2名/聖マリアンナ医科大学/前橋赤十字病院/済生会前橋病院/太田記念病院 2名/日高病院/黒沢病院/佐藤病院/井上病院/恵愛堂病院 2名/聖路加国際病院/長野県立病院機構/戸田中央医科グループ/深谷赤十字病院/佐久市立国保浅間総合病院/湘南鎌倉総合病院/小児科小川醫院/さくら記念病院/朔望会

### ◎企業(メディカル系)

栗原医療器械店/よつ葉/東日本メディコム/クスリのアオキ 2名

### ◎企業(システム系)

富士通/NTT東日本グループ2名/NTTデータアイ/シーエスアイ 2名/両毛システムズ/ジーシー/クライム 2名/ナブアシスト/サンデンシステムエンジニアリング/ベイシア流通技術研究所/スリーアイ/アイ・オーシステムインテグレーション/たけのうち電器/マクロ/日本情報産業 4名/東京コンピュータサービス/ハイミン・エンタープライズ 4名/アドヴァンスト・インフォメーション・デザイン/エスエフシー新潟/サクサシステムエンジニアリング

### ◎企業(一般)

ヤマダホールディングス/群馬日野自動車/信州諏訪農業協同組合/下野農業協同組合/アミイダ/ジーシー自治体サービス/山口精機/エイジェック/ドン・キホーテ/総合警備保障/直富商事/積水ハウス/鹿児島県スポーツ協会

### ◎福祉施設

宏志会

### ◎学校教育

群馬県

### ◎官公庁

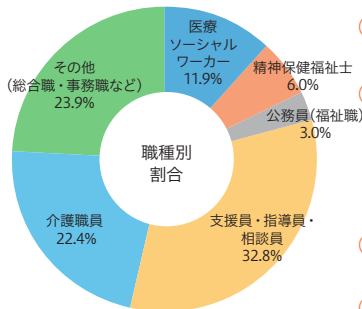
茅室町

### ◎進学

群馬大学大学院医学系研究科/高崎健康福祉大学大学院健康福祉学研究科

就職率: 100%

## 健康福祉学部 社会福祉学科



### ◎病院

済生会前橋病院 2名/老年病研究所附属病院/利根中央病院/順天堂大学医学部附属浦安病院/佐野厚生総合病院/春日部中央総合病院/サンビエール病院/三枚橋病院/桐の木クリニック/内田病院/大島病院/万代総合歯科診療所

### ◎福祉団体

前橋市社会福祉協議会/渋川市社会福祉協議会/沼田市社会福祉協議会/軽井沢市社会福祉協議会/飯綱町社会福祉協議会

### ◎福祉施設

はるな郷 3名/すてっぷ 2名/エムダブルエス日高/新生会/児童養護施設地行園/邦国会/埼玉のぞみの園/苗場福祉会/敬老園/イシノ療護園 2名/特別養護老人ホームねむの丘/サンライフ間屋町/はーとふるチハヤ/はんな・さわらび療育園/介護 NEXT/介護老人保健施設おうみ/介護老人保健施設めぐみ/桜の木/春日の里/障害者支援施設育空/特別養護老人ホームかまくら/放課後デイサービスうらら/障害者支援施設新光苑/清心会/長岡福祉協会/ハーモニー福祉会/軽井沢学園/森と木/精明学園/緑の牧場学園/横浜市福祉サービス協会/たまふれあいクリニック/三幸福社会

### ◎企業

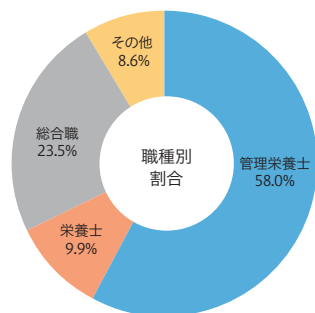
アイオー信用金庫/栗原医療器械店/奈良屋/あすかインターナショナル/日本マクドナルド/パオホッタ/マーキュリー/エイジェック

### ◎官公庁

埼玉県/大田区/神奈川県警察

就職率: 100%

## 健康福祉学部 健康栄養学科



### ◎病院

東邦大学医療センター大森病院/桐生厚生総合病院/老年病研究所附属病院/篠/井総合病院/竹田総合病院/群馬パース病院/本庄記念病院/足利第一病院/箱根病院/南長野医療センター新町病院/尾島デンタルクリニック

### ◎受託給食会社

エムサービス 8名/日清医療食品 5名/ミールケア 4名/グリーンハウス 3名/メフォス 2名/LEOC/ベネミール/富士産業

### ◎調剤薬局 ドラッグストア

ウエルシア薬局/カワチ薬品 3名/スギ薬局/マツモトキヨシ東日本販売/クスリのアオキ 2名/ツルハ 4名/セキ薬品/パフモ

### ◎福祉施設

介護老人保健施設やまぎ 2名/特別養護老人ホーム西嶺の郷・中山の郷/苗場福祉会 2名/さくら介護サービス/敬友会さくらの里/桐和会グループ/上越老人福祉協会/敬仁会グループ

### ◎保育園 認定こども園

ふじおか中央こども園/学研ココファン・ナーサリー/グローバルキッズ/日本保育サービス/こどもの森/せんだん保育園

### ◎企業

ベイシア/フレッセイ/群馬ヤクルト販売/埼玉北部ヤクルト販売/ユー・コーポレーション/下仁田納豆/群馬製粉/杉山塾/ウェルネスダイニング/エム・シーネットワークスジャパン/ドクターラスト/大竹商店

### ◎学校教育

高崎市/高崎健康福祉大学

就職率: 100%

Topics

01

群馬県立観音山ファミリーパーク指定管理者と  
 学生ボランティア活動に関する協定書を締結しました

高崎市内にある群馬県立観音山ファミリーパーク（以下、パーク）では、パーク主催によるさまざまな活動が行われていますが、今年度よりパークを利用して、健大生が主体となり定期的に子どもたちを楽しんでもらう企画を実施することになり、施設の利用をスムーズにし、連携をとりながら事業を進めるため、協定を締結しました。

主体となって企画・実践をしてきているのは、ボランティア・市民活動支援センター（VSC）学生スタッフです。VSCを学生の立場でサポートしてくれるグループで、VSCが実施しているさまざまな活動でリーダーとして活躍をしています。パークでの活動は、学生スタッフが企画を立てて実施するだけでなく、ボランティア活動をしてみたいと思っている健大生に当日ボランティアとして参加してもらうことも目的としており、ボランティア活動者の裾野を広げるための活動にもなっています。

この協定により、パーク側でもボランティア依頼がしやすくなったようです。パークの事業や園内整備のボランティア依頼も数多くいただくようになりました。活動の種類が増えたことで、選択肢が増え、学生が気軽な気持ちで参加してくれるようになったと思います。



▲ 輪投げ遊びの様子（4月）



▲ 七夕飾りを作ってパークに飾りました（6月）

Topics

02

新入職員紹介

皆さん、初めまして。

1月より総務部経理課にて従事しております鈴木秀和と申します。昨年までは東京の企業に勤務しておりましたが、ご縁いただきまして本学にお世話になることとなりました。元々健大高崎高校卒業で、学園にとっても愛着があったので、ここで働けることに幸せを感じております。

DX化が言われて久しいですが、経理部門のDX化はとりわけ社会的に強く求められております。現状の方法を変えていくことは難しいことであると理解しておりますが、新しい風として大学のDX化にも取り組みたいと考えております。

この学園の魅力は教職員の素晴らしい個性だと思っております。今年入職した他の職員も新卒、キャリア採用問わず様々なバックグラウンドを持った方々です。先輩教職員の方々と共に学園を盛り立てていけるよう精進いたします。

（総務部 経理課 鈴木秀和）



左から▶  
 「情報システム管理課 金子真弘課長」  
 「総務部 経理課 鈴木秀和」  
 「図書館 下田詩織係長」  
 「保健医療学部事務室 豎山裕己係長」



左から▶  
 「総務部 総務課 吉澤奈穂」  
 「総務部 経理課 長岡桃加」  
 「教学部 教務課 白石佳鈴」

## 高崎健康福祉大学スケート部

令和3年度(2022)は、北京冬季オリンピックの開催年でした。

4年経過し、北京冬季オリンピックには佐藤選手に加えて、本学職員としてオリンピックを目指している新濱立也選手が出場しました。

北京では、佐藤綾乃選手がチームパシュートで堂々の銀メダルを獲得し、2大会連続のメダリストの偉業を達成するとともに1500mの個人種目で4位入賞を果たしました。

佐藤選手の4年間の成長が見事に実を結んだことを証明する個人種目1500m4位入賞でした。僅差でメダルを逃した佐藤選手は、レース終了後のコメントで「足の長さで負けたのでしょうか」彼女の口惜しさと潔さが表現されたコメントであったと思います。

新濱選手は残念ながら500mで失敗レースとなり残念な結果となりましたが、4年後のミラノ・コルティナダンペッツォオリンピックを目指して活動を開始しています。

新濱選手のこれからの4年間は、リベンジを目指すとともに人間的な成長を求められる「いばらの道」になると思います。「いばらの道を歩んだものは歳張らなくなる」彼の決意の言葉としてくれると考えています。

さて、本学スケート部は目標として「文武両道」を掲げています。

具体的には社会で通用する国家資格取得と日本代表として国際大会への出場です。

文の面では、令和3年度卒業生から毛利信太郎(医療情報)、樋沙織(子ども教育)の2名が学長賞に選ばれました。

また、武の面では、山田和哉(医療情報2年)がワールドカップ全戦に出場、松本一成(医療情報1年)が世界ジュニア出場を果たしました。

文武両道を理念としての活動を証明してくれたという面で特筆されることと思っています。

さて、令和4年度高崎健康福祉大学スケート部も8名の新入部員を迎え活動を開始しました。4月からの活動報告は、選手が交代で執筆編集して公表している「夢の掲示板」により報告しています。「夢の掲示板」も発行以来12年となりました。

令和4年度からはスケート部ホームページが開設されます。その中で「夢の掲示板」も継続して掲載する予定です。

令和4年度は、日本スケート連盟強化選手として、山田和哉(医療情報3年)、松本一成(医療情報2年)、水戸咲良(医療情報1年)の3名が選考され、5月からの帯広での強化合宿に参加しています。日本スケート連盟強化選手は、世界で勝つことを目標に年間を通じた強化合宿を実施しています。さらに、選考会で日本代表に選考されると、ワールドカップで各国に転戦するというハードな日程になります。

強化選手3名は、競技の夢と資格取得につながる学業の狭間となりますが、3名とも精一杯の努力をして欲しいと願っています。

現在スケート部は、令和4年8月～9月の夏季休業中の約2か月、八戸と帯広で長期氷上合宿に入っています。

毎日9時～12時までの氷上トレーニング、15時～17時までの陸上トレーニングを実施し毎日が疲労困憊の連続となるシーズン当初の超ハードトレーニングに励んでいます。

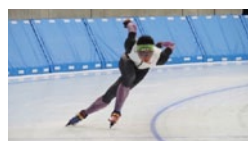
内容は、①トップスピードを出すための技術の定着、②トップスピードの持久力を向上、③誰にも負けず自分の武器を磨く個人練習、④レースプランを実現する練習と段階的なトレーニングを実施しています。

現在は①と②の段階ですが、すでに八戸サマー競技大会という公式戦が8月20日～22日に実施されました。

シーズン当初の大会なので日本スケート連盟強化選手等の主力は欠場する中でのレースでしたが、現状を把握するには絶好のチャンスとなりました。トレーニング中のテストレースという位置づけではあったものの、結果に対しては一喜一憂、そして課題満載、多くの宿題を背負うことになりました。今後、9月からは合宿場所を帯広に移し、夏季休業中終了日までハードな練習に明け暮れることとなります。

### 八戸サマースピードスケート競技大会 主な成績

女子500m			
2位	小野寺日菜	40.30	(子ども教育1年)
8位	清水 彩花	42.42	(子ども教育2年)
男子500m			
2位	土屋 慶介	36.41	大会新(医療情報2年)
女子1500m			
5位	小野寺瑠衣	2.05.42	(子ども教育4年)
男子1500m			
2位	市場 翔太	1.52.24	(医療情報1年)
女子1000m			
1位	小野寺瑠衣	1.20.27	(子ども教育4年)
5位	小野寺日菜	1.22.24	(子ども教育1年)
男子1000m			
2位	市場 翔太	1.13.28	(医療情報1年)
4位	林 航輝	1.14.30	(社会福祉2年)
5位	土屋 慶介	1.14.49	(医療情報2年)
女子3000m			
6位	矢澤 明里	4.30.21	(看護3年)



# 令和3年度 学校法人 高崎健康福祉大学 決算報告

## 令和3年度資金収支計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

科 目		決 算	科 目		決 算
学生生徒等納付金収入	4,735,634	人件費支出	3,476,827		
手数料収入	90,902	教育研究経費支出	1,792,197		
寄付金収入	129,739	管理経費支出	402,751		
補助金収入	1,146,833	借入金等利息支出	23		
資産売却収入	451,170	借入金等返済支出	0		
付随事業・収益事業収入	242,238	施設関係支出	206,514		
受取利息・配当金収入	45,771	設備関係支出	181,450		
雑収入	137,715	資産運用支出	829,960		
借入金等収入	300,000	その他の支出	190,807		
前受金収入	751,077	資金支出調整勘定	△ 27,047		
その他の収入	404,504	次年度繰越支払資金	2,966,991		
資金収入調整勘定	△ 723,959				
前年度繰越支払資金	2,308,849				
収入の部合計	10,020,473	支出の部合計	10,020,473		

## 令和3年度事業活動収支計算書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

◆教育活動収支 (単位:千円)		◆教育活動外収支 (単位:千円)		◆特別収支 (単位:千円)	
<b>事業活動収入の部</b>		<b>事業活動収入の部</b>		<b>収入の部</b>	
学生生徒納付金	4,735,634	受取利息配当金	45,771	資産売却差額	1,170
手数料	90,902	その他の教育活動外収入	0	その他の特別収入	60,369
寄付金	104,884	教育活動外収入計	45,771	特別収入計	61,539
経常費等補助金	1,119,855			<b>事業活動支出の部</b>	
付随事業収入	242,238			資産処分差額	17,192
雑収入	137,715			その他の特別支出	0
教育活動収入計	6,431,227			特別支出計	17,192
		<b>事業活動支出の部</b>		特別収支差額	44,348
		借入金等利息	23	基本金組入前当年度収支差額	226,850
		その他の教育活動外支出	0	基本金組入額合計	△ 198,157
		教育活動外支出計	23	当年度収支差額	28,693
				前年度繰越収支差額	△ 5,201,585
				基本金取崩額	0
				翌年度繰越収支差額	△ 5,172,893
				(参考)	
教育活動収支差額	136,753	教育活動外収支差額	45,748	事業活動収入計	6,538,538
		経常収支差額	182,502	事業活動収出計	6,311,688

## 令和3年度貸借対照表 (令和4年3月31日)

◆資産の部 (単位:千円)		◆負債の部 (単位:千円)		◆純資産の部 (単位:千円)	
<b>固定資産</b>	15,023,876	<b>固定負債</b>	240,000	<b>基本金</b>	22,114,951
有形固定資産	11,055,396	<b>流動負債</b>	908,506	繰越収支差額	△ 5,172,893
特定資産	2,500,000				
その他の固定資産	1,468,480				
<b>流動資産</b>	3,066,688			<b>純資産の部合計</b>	16,942,058
<b>資産の部合計</b>	18,090,564	<b>負債の部合計</b>	1,148,506	負債及び純資産の部合計	18,090,564

## 令和3年度財産目録 (令和4年3月31日)

科 目 (単位:千円)		科 目 (単位:千円)		科 目 (単位:千円)	
<b>(1) 資産総額</b>	18,090,564	<b>2. 運用財産</b>	7,035,168	(9) 電話加入権	952
<b>1. 基本財産</b>	11,055,396	(1) 預金・現金	2,966,991	(10) 施設利用権	2,779
(1) 土地	137,349.15㎡	(2) 特定資産	2,500,000	(11) 出資金	600
(2) 建物	66,230.64㎡	(3) 保険積立金	440,623	(12) 敷金	9,282
(3) 建設仮勘定	97,900	(4) 有価証券	779,847	(13) ソフトウェア	5,033
(4) 構築物	368,108	(5) 未収入金	60,719	(14) 収益事業元入金	211,344
(5) 図書	164,473冊	(6) 立替金	3,905	(15) 長期貸付金	18,020
(6) 教具・校具・及び備品	28,718点	(7) 前払金	6,454	(16) 短期貸付金	3,180
(7) その他(車両)	2,834	(8) 仮払金	25,438		
				<b>(3) 前受金</b>	751,077
				<b>(4) 預り金</b>	75,318